

ペットボトルで宝物

たからもの



3号四方に切ったペットボトルをトースターで加熱すると、熱でくると丸まります。筒状のビーズにして糸を通して、プレスレットのできあがりです。「SDGsに興味を持つことができました。世界に1つだけのアクセサリ

1を手に着いた神田瑞希さんが、笑みを浮かべます。小学校4年の神田さんは、授業でごみ処分場のことを勉強し、分別に気をつけるようになったそうです。

夏休みの7月、東京都立五日市高校ES&S国際交流部のメンバーたち、SDGsに関心を持ってもらおうと、子どもたちを指導しました。4月から部長を務める中島凛さん(2年)は、「こみと生かしたものが宝物になるという体験を楽しんでもらえた」と手応えを話します。

東京都立五日市高校



もったいない (MOTTAINAI)

物を粗末にすることを惜む、日本文化を象徴する言葉です。2004年にノーベル平和賞を受賞したケニアの環境副大臣ワンガリ・マータイさんの運動で世界的に有名になりました。

大人も一緒に歌やダンスで

隣にある檜原村に住む高木さんは、こみを別の製品に生まれ変わらせる「アップサイクル」という考え方を活用したアークセラー作りに取り組んでいます。川は海の入りを、秋川の自然を守ろうと活動する高校生たちを、温かく見守ります。

「何がもったいないか考えてみよう。自分自身に問いかけてみよう。」

高校生たちが作った歌「MOTTAINAI」は、「日本にも物を大切にすることをSDGsの取り組みがあることを歌やダンスで世界に知ってほしい」という考えから生まれました。

力を貸してくれたのは、ごみ拾いで出会った羅久井俊介さんです。岡山県で生まれた羅久井さんは、東京で働くうちに、あきる野市の魅力を知り、移り住んできました。MOTTAINAI

学習のヒント



この新聞には、SDGs学習のヒントがたくさん書かれているよ。「調べよう」「やってみよう!」のマークを手がかりに、探してみよう。みんなが取り組んだことを教えてね。(応募方法は8頁)